

リニア事業への反対を求める陳情書

(陳情趣旨)

2011年に現行ルートでのリニア中央新幹線の建設を国がＪＲ東海に指示して以来、私たちは最低限「今ある暮らしが守られるように」と願って、説明会に足を運び、ＪＲ東海の説明に耳を貸してきました。ところがＪＲ東海の説明は、認可前は「決まっていないことなのでこの場では説明できない」、認可後は「決まったことなのでやります」と、乱暴なものでした。

先日８月２４日に行われた松川インター大鹿線の工事説明会を経て、ＪＲ東海は工事着工の意向を示しました。結局ＪＲ東海の説明は、工事開始直前の段階においてすら、始めてみて問題があればその都度対応していくというものでした。問題が起きても最終的には責任を持たないということです。本体工事のための準備工事でありながら、発生土の行く先（仮・本置き場も含める）も未定、村が求めてきたＪＲとの協定締結もないままです。このような一方的な工事着手表明を、私たちは認められません。

まともな説明もしない、結果も引き受けない企業による大型工事がなされれば、今の鹿村の生活や環境が一方的に壊されても、そのつけは住民が負うことになります。

もともと、ＪＲ東海が全額自己負担すると約束して国は事業を認可しました。ところが今は公的資金の投入が検討され、当初計画の前提自体が損なわれています。リニア事業は鹿村にとってどうしても必要なものではないはずです。

大鹿村議会は、村の環境と私たちの生活を守るためにリニア工事に反対してください。将来の住民と子どもたち、村の環境に責任を負うのは、ＪＲ東海ではなく今の私たち自身です。

(陳情項目)

大鹿村議会は、リニア事業への反対を決議してください。

名 前	住 所	印

締め切り 第一次 2016年9月10日 第二次9月18日

集約先 399-3502大鹿村大河原3080 前島久美

T・090-8044-0704

署名を集める際の注意点・お願い

この署名は村議会（8月31日）に提出した同内容の陳情書への賛同署名です。以下の各点にご注意ください。

- 1 お名前、住所とともに印鑑をお願いします。なければサインでも結構ですが、なるべく印鑑が望ましいです。
- 2 村外の人でもOKです。趣旨に賛同できる方はどなたでも署名できます。
- 3 お子さんでもOKです。
- 4 未署名の署名用紙をコピーしてくださって結構です。お近くの人に知ってもらい、なるべく多くの人の署名を集めてくださるようお願いいたします。署名用紙が大量に必要な場合は、集約先にありますのでご連絡ください。
- 5 いただいた署名はそのまま村議会に提出し、目的外のことは使用しません。

ご協力をお願いいたします。

朝日新聞 2015年8月31日

JRと地元住民対立 大鹿のリニア工事説明会

リニア中央新幹線南アルプストンネルの開通工事に向けた大鹿村の地区説明会をめぐり、JR東海と地元住民が対立している。地区外に住む村民1人の出席を認めるよう求めたのに対し、JR側が「地区内に限る」と拒否したためだ。

JRの計画によると、村内では南アルプストンネル本体につながる4本の作業用トンネルができる。このうち2本の坑口となる釜沢地区で28日夜、県道赤石尾公園線の改良工事の説明会が非公開であった。資機材を運び込み、残土を搬送する大型車両が通る道だ。JRや県は「9月中旬ごろに工事を始めたい」と述べた。

開会前、谷口界自治会長はJR側に、村が委嘱したリニア対策委員会委員の前島久美さんの出席を求めたが、「対象地区の住民でないのに認められない」と言われた。オプザーバー出席も断られた。谷口会長らは抗議の意味で退席した。

JR広報部は「開会直前の出席要請は想定していなかった。事前に申し出ていただければ、調整する余地はあった」と話す。一方の前島さんは「私がリニア反対の立場という事情もあつたと厚く、住民の理解を得ると言いながら、つじつまが合わない」と批判する。

JRは南アルプストンネル工事説明会を8月に開催するよう村へ申し入れている。全

村民向けに次いで、地区ごとに開く予定。JRは出席の可否について「そのつど判断する」としているが、今回の対立が影響する可能性もある。（山田雄一）